

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **大田市** (都道府県: **島根県**)
 本事業の担当部署名 **政策企画部政策企画課**

| | | | |
|--|---|------------------------|-----------|
| 事業メニュー | 地域結婚支援重点推進事業 | | |
| 区分 | 一般メニュー | | |
| 関連事業メニュー | 1_1_2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー | | |
| 個別事業名 | 出会いの場創出事業 | 新規/継続 (一般財源での実施も含む) | 新規 |
| 実施期間 | 令和6年4月1日 ~ | 令和7年3月31日 | 事業開始年度 年度 |
| 対象経費支出予定額 ※(注)1 | 760,000 | | 円 |
| 自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2 | <p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通</p> <p>本市では、これまで少子化対策として様々な事業を進めてきたが、人口減少は加速の一途を辿り、令和元年に201人であった出生数が令和4年には169人に落ち込む等、少子化にも歯止めがかかっていない。このような状況の中、令和5年度に本交付金の活用により「少子化対策に係る調査研究等事業」に着手し、人口統計分析のほか、市民アンケート、各団体へのヒアリング等を実施し、本市における人口動態の実態を把握するとともに課題抽出に取り組んだ。</p> <p>本市においては、「10代後半から若年層が転出超過にある(特に女性)」「その後のUターンが弱い」ことの累積が一番の人口減少・少子化の要因と推察される。また、アンケートやヒアリングにより、多様な交流の場に対するニーズがある一方で、出会いの場に直接参加することに抵抗を持つ声もあり、その他、本市の魅力を伝えきれていないとの声も聞かれたところである。</p> <p>以上のことから、今後の対策においては、「女性の定住促進」「出会いの場の創出」「本市の資源や魅力を伝える」をキーワードに取り組みを進める。その際には、デジタル化が進む社会を踏まえ、特に若い世代の感覚や生活環境、生活様式を意識する必要がある。</p> | | |
| | <p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け)</p> <p><当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通</p> <p>令和6年度は、令和5年度の調査分析結果を踏まえ、具体的な動きを創り出すための取り組みを進めたい。とりわけ、交流の場に対するニーズについては、本交付金を活用して婚活イベントを実施したい。</p> <p>【交流の場の創出】 対面交流への抵抗感の軽減を図り、バーチャル空間を活用した出会いの場を創出する。市外からも参加者を募集しマッチングを図る。</p> <p>【地区へのフィードバック・意識啓発】 令和5年度の調査分析結果を各地区にフィードバックし、本市における人口減少・少子化の実態を共有する。その際、各地域で実践されている少子化対策の具体例を紹介するなど、取り組み意識の向上を図るとともに、各地区の実情に即した具体的な動きに繋がるよう側面支援を行う(相談支援、情報提供、地区間の情報交換支援等)。</p> <p>【具体的な施策検討】 その他、関係機関や若年世代により構成する調査検討委員会を交え、引き続き、少子化対策に資する具体的な施策を検討する。</p> <p><本個別事業の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーチャル空間を活用した出会いの場の創出については、本市では初めての取り組みとなるためノウハウ等が乏しいが、大田はびこ会等関係機関との連携により、一定の成果をめざして取り組む。 ・また、単にカップリングをめざすだけでなく、本市の魅力を発信し関係人口の拡大に繋がる効果を狙いたい。本市では、観光・教育・関係人口拡大等に資する目的で、市内事業者等が大森地域の情報をデジタル化し、デジタルツインパスとしてバーチャル空間に再現するプロジェクトを進めている。実在する地域を再現した仮想空間であり、現実世界との対応もできるため、この技術を活用することで大森地域のPRに繋がる大田市らしきを出せるイベントになると考える。 ・プロジェクトを進める事業所等は、婚活イベントのノウハウを持ち合わせていないため、同様のイベントを運営する専門会社と比べると運営費用が割高になるが、大田色を強く出した取り組みには、当該事業所等の協力が不可欠である。 ・なお、イベント実施により、新たなニーズや少子化解消のヒントが見出せる可能性があるため、本交付金を活用し、効果の測定のほか、実施により得たヒントを今後の取り組み及び他事業に有効活用したい。 | | |
| <p>(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))</p> | | | |

| 番号 | 項目 | 内容 | ステップアップ | KPI設定 | |
|--|-----------------------------|--|---------|--------------|--------------|
| 1 | 「大田市出会いバース」(仮称)の実施 | <p>【イベントの概要】 バーチャル空間を活用した出会いの場の創出。</p> <p>【イベントの構成】 ①バーチャル空間内での出会い、交流、1対1コミュニケーション(参加者は自身の分身アバターで空間内を動く) 1回開催 ～自己PR・空間内を歩き本市の魅力を知る・空間内コンテンツ等で1対1の交流を図る。 ～マッチングにより、②へ繋げる。 ※市内外より最大50名の参加を見込む ②市内大森町(リアル空間)で交流し、マッチング 1回開催 ～①のマッチング結果を踏まえたリアルデート・最終マッチング。 ※①の参加者から、最終10名の参加を見込む</p> <p>【バーチャル空間活用の意義・効果】 ・対面交流時の抵抗感を軽減できるほか、市外から参加しやすい。 ・デジタル化が進む社会において、新たな出会いの場としての検証ができる。 ・今回活用するデジタルツインバースは、実在する地域を再現しているため、カップリングだけではなく、本市の魅力発信に繋がる。 ・当該バースに関するプロジェクトは、その有効活用が期待され市全体で支援している。そのため、分野を横断した情報共有と、広い視点で実施結果の検証ができる。</p> <p>※本事業を実施することで、次のような展開が期待できる。 ○出会いの場の拡大(仮想空間を活用した新たな出会いの場の創出) ○仮想空間と現実空間で連携が取れるため、仮想空間訪問者と現実空間実在者との交流が可能となる(仮想空間訪問者は、家にいながら現地との交流ができるため、交流や出会いの形の多様化が見込まれる) ○実在する大森地域(世界遺産エリア)を舞台にした仮想空間のため、「観光」「学び」の要素が付加される(交流に加えて大森地域のことを知り、学ぶことができる) ○大田市(大森地域)に興味を持ってもらい、実際の訪問に繋がりがやすくなることが期待できる ⇒上記により、直接的な出会いのほか、関係人口の拡大と新たな出会いに繋がることが期待できる</p> | | ○ | |
| 2 | スキルアップセミナーの開催 | <p>【セミナーの目的と概要】 出会いの場における交流スキルを上げ、マッチング成果に繋げることを目的に、イベントに参加する市内在住者を対象にしたスキルアップ(自己PR、話し方、身だしなみ等)セミナーを開催する。 1回開催 ※市内からの参加を30名と想定し、うち25名の参加を見込む ※イベント参加者の8割がセミナーを受講するよう、「大田市出会いバース」(仮称)の参加者募集にあたっては、大田はびこ会と連携し、会の登録者の参加を優先する</p> <p>【セミナー講師】 接客業等の分野でアドバイザーとして活躍される方を想定している。</p> | | ○ | |
| 3 | 結婚支援ボランティアによる相談支援 | <p>【相談支援の概要】 イベント参加者に対して随時相談支援を行う。</p> <p>【相談支援体制】 大田はびこ会のボランティア支援者により相談支援を行う。 ※市内からの参加を30名と想定し、うち25名への支援を見込む</p> | | ○ | |
| <p>【次年度以降に向けた事業の方向性】 ・令和6年度の実施効果を受け、次年度以降の継続実施、改善実施等を検討する。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ・鳥根県出雲市「縁結びプロジェクト推進事業」 ・大田市「少子化対策に係る調査研究等事業」の調査分析結果</p> | | | | | |
| 少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通 | KPI項目 | | 単位 | 目標値 | 現状値 |
| | 出生数 | | 人 | 200 (R8年度) | 181 (R4年度) |
| | 大田はびこ会登録者成婚数(累計) | | 件 | 56 (R8年度) | 44 (R4年度) |
| | 社会減の改善(人/年間) | | 人 | △50 (R8年度) | △67 (R4年度) |
| | 誘致企業・認定企業の雇用創出数(常用従業員数)(累計) | | 人 | 1,177 (R8年度) | 1,089 (R4年度) |
| | 地元高校への入学者の割合 | | % | 60 (R8年度) | 61.5 (R4年度) |
| 参考指標 ※(注)5 ※全事業共通 | 項目 | | 単位 | 直近の実績 | |
| | 合計特殊出生率 | | | 1.57 (R4年) | |
| | 婚姻件数 | | 件 | 90 (R4年) | |
| | 婚姻率 | | | 2.7 (R4年) | |

個別事業の内容
※(注)3

| 事業内容 番号 | KPI項目 | 単位 | 目標値 | 現状値 | |
|-----------------------------------|---|-----------------------------|-----|-----|---|
| | 項目 | | | | |
| 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6 | (アウトプット) | | | | |
| | 1 | 市内からの婚活イベント参加者数(全体延べ参加者60名) | 人 | 30 | — |
| | 2 | スキルアップセミナー参加者数 | 人 | 25 | — |
| | 3 | ボランティアの支援を受けた人数 | 人 | 25 | — |
| | | (アウトカム) | | | |
| | 1 | 婚活イベントでのカップリング率 | % | 40 | — |
| | 2 | スキルアップセミナー参加者の満足度 | % | 80 | — |
| | 3 | | | — | |
| 他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7 | | | | | |
| 民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8 | 個別事業については、関係事業者等と連携し、概ね下記の役割分担により実施する。 ・婚活イベントの企画・運営は、メタバース空間の開発事業者に業務委託し、その詳細は協議により決定する ・大田はびこ会と情報共有し、婚活イベントの企画検討、各種周知、セミナーの流れなどの細部について助言を受け | | | | |

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的な内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

積算内訳書

| | | | |
|-----------|------------|---------|---|
| 1. 地方自治体名 | 島根県大田市 | | |
| 2. 個別事業名 | 出会いの場創出事業 | | |
| | 対象経費支出予定額: | 760,000 | 円 |

3. 本個別事業に要する費用及びその内訳

| No | 経費区分 | 経費区分毎の内訳 | 総事業費 | | |
|----|------|--|-----------|----------|-----------|
| | | | 交付対象事業費 | 交付対象外事業費 | |
| 1 | | ①婚活イベントの開催 | | | |
| 2 | 需用費 | 「大田市出会いバース」(仮称) 消耗品費 ・資料 ・現地案内板 ・その他事務用品 等 | 50,000 | 0 | 50,000 |
| 3 | 委託料 | 「大田市出会いバース」(仮称) 業務委託 ・バーチャル空間設計 ・アバター構築 ・コンテンツ作成 ・サーバー設定及び運用費 ・機材レンタル費 ・交通宿泊費 ・スタッフ人件費 ・進行管理 等 | 3,206,500 | 660,000 | 2,546,500 |
| 4 | 委託料 | 「大田市出会いバース」(仮称) 周知チラシ作成 ・A4表裏 ・カラー ・2,500部(市内回覧+配布用) | 150,000 | 0 | 150,000 |
| 5 | | ②スキルアップセミナーの開催 | | | |
| 6 | 委託料 | セミナー業務委託 ・講師謝金 ・講師交通費 ・資料作成 等 | 100,000 | 100,000 | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |
| 11 | | | | | |
| 12 | | | | | |
| 13 | | | | | |
| 14 | | | | | |
| 15 | | | | | |
| 16 | | | | | |
| 17 | | | | | |
| 18 | | | | | |
| 19 | | | | | |
| 20 | | | | | |
| 計 | | | 3,506,500 | 760,000 | 2,746,500 |

(経費区分ごとの合計)

| 区分 | 諸謝金 | 賃金 | 報償費 | 旅費 | 需用費 | 役務費 |
|---------|-----------|----------|-------|-----|--------|-----------|
| 総事業費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50,000 | 0 |
| 交付対象事業費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 区分 | 委託料 | 使用料及び賃借料 | 備品購入費 | 負担金 | 補助金 | 計 |
| 総事業費 | 3,456,500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,506,500 |
| 交付対象事業費 | 760,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 760,000 |

(参考)上記のうち、セミナー・イベント等開催時の一人当たりコスト

(単位:円、人)

| 番号 | セミナー・イベント名称 | 所要額(X)※ | 参加予定人数(Y) | (参考)過去の同セミナー・イベントの人数 | 一人当たりコスト(X÷Y) |
|----|---------------|---------|-----------|----------------------|---------------|
| 1 | 大田市出会いバース(仮称) | 600,000 | 60 | - | 10,000 |
| 2 | スキルアップセミナー | 100,000 | 25 | - | 4,000 |
| 3 | | | | | 0 |

※自治体間連携で事業を実施する場合は、総額の所要額を入力すること。